

安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための 評価・管理技術の開発

【714（844）百万円】

対策のポイント

食品の安全性を確保するための技術、品種判別技術、機能性解析技術を開発します。

（ニュートリゲノミクスとは）

ニュートリション（栄養）とゲノミクス（遺伝子の網羅的解析技術）の造語で、食品成分の摂取に伴って起こる遺伝子の発現量の変動を網羅的に解析する手法です。食品成分を摂取した時に起こる生体内の変動を遺伝子レベルで調べることが可能です。

政策目標

国産農林水産物の安全と信頼の確保と食事バランスによる健康増進

<内容>

1. 食品の安全・信頼を確保するための評価・管理技術の開発

生産現場や食品製造現場に対応した、新たな危害要因等の検知・制御技術を開発します。また、食品の信頼性を確保するため、原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術システムを構築します。さらに食品安全性管理の国際化に対応するため、標準物質の製造技術体系と精度管理システムを構築します。

2. 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス（栄養成分応答性遺伝子解析技術）等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術を開発します。

<実施主体等>

実施主体 独立行政法人、都道府県、大学、民間等

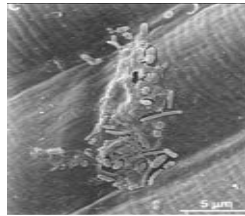
実施期間 平成18年度～平成22年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発課（03-3502-0536（直））]

安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発

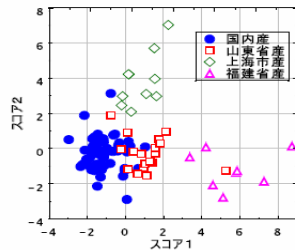
(1) 食品の安全・信頼を確保するための評価・管理技術の開発

① 生産現場や食品製造現場に対応したGAP(適正農業規範)等の確立に資する、新たな危害要因制御技術の確立



バイオフィルム制御
(多糖類に包まれた微生物は殺菌しにくい)

② 原産地、生産履歴情報、品種・系統等、高度偽装防止技術システムの構築

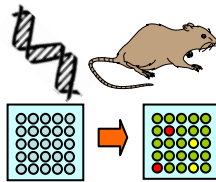


原産地判別

③ 安全性管理の国際化に対応した標準物質の製造技術体系と精度管理システムの構築

(2) 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

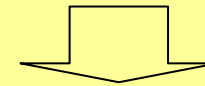
ニュートリゲノミクス等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術の開発



ニュートリゲノミクス
(栄養成分応答性遺伝子解析技術)

食の安全・健全な食生活に対する関心の高まり

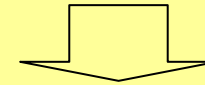
- 生産者は、高付加価値の農産物を作りたい。
- 消費者は、おいしくて、健康に良い食品・農産物を求めている。



農場から食卓まで一貫して食の安全を確保し、消費者の信頼を回復するとともに、健全な食生活を実現するための食品および農産物が求められている。

期待されるアウトカム

- 食品および農産物の安全・信頼性の確保および信頼性の高い機能性食品・農産物指標の提供。
- 育種目標として研究に取り組む(ブランドニッポン等)。



安全な食品の提供

偽装表示の抑止

消費者が安心して食品を購入

食事バランスによる健康の維持増進

- 独自技術による国産農水産物の安全、安心と優位性の確保による需要の促進。